

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030183

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○事業期間 平成26年度～34年度 ○総事業費 985,000千円
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	2	経営基盤の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	幌内地区(幌内漁港)水産生産基盤整備事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	北海道					
事業指標	工事進捗率					
事業目標	100%					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	9 産業振興課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	幌内漁港の外郭・水域・係留・輸送施設・用地埋立整備		○幌内漁港 地質、構造設計、実施設計一式	○幌内漁港 西護岸新設 L=65.0m	○幌内漁港 西護岸新設 L=65.0m	○幌内漁港 北防波堤新設 L=30.0m 北護岸新設 L=16.0m 西護岸新設 L=130.0m
	○事業費 381,000千円 ・漁協分担金 903千円 ・一般財源 3,614千円  道の総事業費 381,000千円					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	4,517	0	4,517	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	903		903		
一般財源	3,614		3,614			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,479	0	2,479	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	495		495		
一般財源	1,984		1,984			
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
漁協負担金	【評価・実績】		漁協負担 495千円 総事業費 49,208千円			
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前期計画からの継続	年度目標値		100%	100%	100%	100%
	年度達成率	#DIV/0!	55%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
第6期計画への継続	全体達成率	0%	55%	55%	55%	55%
	事業進捗状況		☆☆☆☆			

事業名	幌内地区(幌内漁港)水産生産基盤整備事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	安井雅憲

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	工事進捗率
【抱える課題やニーズは】	船揚場が不足し漁港が狭隘であるなど、漁港機能の高度化及び漁業活動の安全性・生産性の向上を要する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設整備により漁港機能が高まり、漁業活動の安全性の向上が図られ、生産性の高い環境を創造する。	① 工事進捗率	目標年度 目標値 実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	漁港機能が高まり、漁業活動の安全性・生産性の向上を図る。		達成度 100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	漁港整備に係る地元負担金	北海道が実施する幌内漁港整備事業に対する地元負担金の支出	目標年度 目標値 実績値
			達成度 #DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	幌内漁港における生産性向上や安全性の確保のため、漁港整備は重要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	必要とする整備の設計等が行われ、今後の漁港整備が計画的に進められていく。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	地元負担割合が定められており、コスト削減ができないが、早期の補修要望を行うことにより、総事業費の低減が図られる。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	水産基盤整備事業に係る地元負担金については、条例に基づき受益者負担金(負担額の20%)を徴収している。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設整備により、漁港機能が高まり、漁業の安全性、生産性の向上が進んでいる。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
幌内漁港の早期改良に向けて継続実施が必要である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止